

見習前半コース

- 受講日数 5日間 リモート研修
- 対象者 見習技能ランク登録者
- 教材車両 日産 スカイライン（V36系）

目 的

自動車の復元修理に関する基礎知識と、乗用車の前部・軽損害に関する見積技法（基礎）、事故との整合性ならびに損傷診断の基礎を習得する。技術アジャスターとしてのスタートに際し、業務に必要な基本動作、基本的な技術知識を習得。

概 要

- 自動車の構造** 自動車用材料の特性・分類、自動車用鋼板の性質・熱処理、ボデー（フレーム、モノコック）、衝撃吸収構造、プレス加工の目的と形状
- メカニズム** クーリングシステム、クーラシステム、ステアリングシステム、フロントサスペンション、SRSエアバッグ
- 補修塗装** 乾燥と硬化、塗膜の種類、調色、補修塗装作業工程
- 損傷診断、見積実習** 力学、事故形態と損傷形態、マクロ・ミクロ的観察による損傷の種類、見積の機能、フォームと記載要領、項目設定、部品取替要否の判断、記載順序と記載例
- 復元修理技法** 復元修理の原則、修理作業の種類、修理作業工程、機器工具、ボデーフレーム修正機の種類
- 整合性** 自動車の運動・挙動、入力方向・入力順序の判断要素、客観的資料、主観的資料

カリキュラム

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
9:00	開講式・自己紹介	作業時間	復元修理技法	塗装	スカイライン構造解説
	技術アジャスターの役割				損傷診断実習
10:00	自動車の構造（材料）				
11:00	自動車の構造（ボデー）				見積実習
12:00	昼 休 憩				
13:00	自動車の構造 （メカニズム）	整合性の検討	復元修理技法	塗装	見積実習
14:00		整合性実習	損傷診断Ⅰ	見積書の作成要領Ⅰ	損傷診断・見積実習のまとめ
15:00				見積書の作成要領Ⅱ	
16:00		整合性実習のまとめ	損傷診断Ⅱ	損傷診断レポート・ 見積書の書き方	
17:00					